

平成29年度関東倶楽部対抗栃木第3会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 17倶楽部 ・ 136名)

期日：5月26日(金)

場所：都賀カンツリー倶楽部 西・北コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(西コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	江良 敏	サンヒルズ	磯 信廣	那須カントリー	宍戸 重一	東松苑	梅澤 正男	鹿沼プレミア
2	7:39	田村 次郎	那須小川	矢作 勝明	都賀	水野 昭博	皐月・鹿沼	小林 令二	喜連川
3	7:48	星野 信男	ハウライ	宮田 峰雄	レイクランド	齊藤 裕一	東雲	手塚 幹雄	日光
4	7:57	奥澤 利光	那須	坂巻 雅彦	あさひヶ丘	石川 清己	佐野	高山 登	烏山城
5	8:06	山ノ邊 芳司	ディアレイク	伊沢 孝一	サンヒルズ	前田 照利	東松苑	松村 茂	那須小川
6	8:15	山崎 唯普	皐月・鹿沼	坪田 孝文	ハウライ	藤田 政美	東雲	瀬戸 英雄	那須
7	8:24	真下 政夫	佐野	古沢 章司	ディアレイク	関口 健一	那須カントリー	長谷川 仁	鹿沼プレミア
8	8:33	佐野 智浩	都賀	早津 泰人	喜連川	菊田 茂	レイクランド	与倉 博逸	日光
9	8:42	佐久間 紀明	あさひヶ丘	藤田 伸郎	烏山城	平林 哲也	サンヒルズ	平井 正行	鹿沼プレミア
10	8:51	田村 利光	皐月・鹿沼	御子貝 一光	レイクランド	宮田 識	那須	高橋 久雄	烏山城
11	9:00	益子 憲行	喜連川	鈴木 盛生	那須小川	大森 政男	那須カントリー	林 芙左一	東雲
12	9:09	浜田 義信	あさひヶ丘	寺沢 洋	ディアレイク	平田 義人	東松苑	寺内 眞平	都賀
13	9:18	戸祭 康夫	日光	高橋 憲一	ハウライ	渋谷 保夫	佐野	高橋 是光	サンヒルズ
14	9:27	樋山 儀男	那須小川	山崎 貞雄	ハウライ	南郷 茂隆	那須	江連 秀樹	ディアレイク
15	9:36	高久 弘	那須カントリー	松井 康	都賀	木野村 正昭	レイクランド	外圍 幸夫	あさひヶ丘
16	9:45	渡邊 英治	東松苑	大川 敏夫	皐月・鹿沼	鈴木 富男	東雲	藤井 恒雄	佐野
17	9:54	大瀧 秀紀	鹿沼プレミア	宮内 茂雄	喜連川	朝山 晃司	日光	菊地 久	烏山城

10番(北コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	7:30	山内 一晃	サンヒルズ	狩野 達男	都賀	菅家 政博	東雲	テラー リンディジョン	烏山城
19	7:39	坂本 淳	那須カントリー	石井 昭浩	皐月・鹿沼	斎藤 信一郎	日光	藤城 拓也	ディアレイク
20	7:48	田口 敦	東松苑	石渡 修	喜連川	梶原 浩嗣	那須	矢口 敏男	鹿沼プレミア
21	7:57	菊地 政行	ハウライ	宮田 玲	あさひヶ丘	角田 浩	那須小川	千代田 正司	レイクランド
22	8:06	野口 政夫	佐野	松永 武士	サンヒルズ	佐藤 至	皐月・鹿沼	吉川 浩司	那須
23	8:15	平山 正郎	那須カントリー	福島 豊	喜連川	高山 知晃	あさひヶ丘	湊 弘充	東松苑
24	8:24	加藤 武雪	レイクランド	遠藤 利也	佐野	渡辺 正樹	鹿沼プレミア	佐藤 一三	ハウライ
25	8:33	田所 靖浩	烏山城	君島 勇人	那須小川	石島 英明	東雲	高村 敏行	ディアレイク
26	8:42	廣瀬 源太郎	都賀	宿谷 郁男	日光	天川 主税	サンヒルズ	柏山 努	喜連川
27	8:51	難波 清	佐野	常盤 一美	那須カントリー	相馬 裕暢	ハウライ	添田 克彦	烏山城
28	9:00	山口 正浩	鹿沼プレミア	菊名 浩行	東松苑	佐藤 広正	ディアレイク	藤代 一郎	レイクランド
29	9:09	江俣 信司	東雲	小森 章弘	那須小川	廣田 剛治	日光	中村 浩之助	都賀
30	9:18	有明 利昭	那須	早坂 孝己	皐月・鹿沼	近藤 博宣	あさひヶ丘	長沢 昌彦	サンヒルズ
31	9:27	渡邊 貴憲	ハウライ	田嶋 英樹	ディアレイク	吉澤 美智雄	那須カントリー	鈴木 悟	レイクランド
32	9:36	野村 裕二	東松苑	成田 裕幸	東雲	若林 徹	鹿沼プレミア	佐藤 健志	日光
33	9:45	小口 涉	那須小川	布戸 隆多	那須	榎本 隆司	都賀	高橋 英樹	あさひヶ丘
34	9:54	阿部 智征	皐月・鹿沼	高橋 昌義	佐野	木村 光芳	喜連川	坂本 和彦	烏山城

競技委員長 田辺光男

平成 29 年度 関東倶楽部対抗栃木第 3 会場予選競技

開催日 : 5 月 26 日(金)

開催コース : 都賀カンツリー倶楽部 西・北コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - (a) 排水溝
 - (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - (d) 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
 - (e) 距離標示用の人工のヤーデージマーク
5. コースと不可分の部分
 - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
 - (b) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
AクラスYards	311	358	366	166	535	332	189	500	358	3115	
BクラスYards	379	358	382	180	551	393	208	532	391	3374	
Par	4	4	4	3	5	4	3	5	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	372	135	396	457	403	321	175	402	527	3188	6303
	400	135	409	496	442	367	186	412	541	3388	6762
	4	3	4	5	4	4	3	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1 回の長いサイレン

プレーの中断 : 連続する 3 回の短いサイレン(繰り返し)

プレーの再開 : 2 回の短いサイレン(繰り返し)

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
5. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 200 球を限度とする。
6. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 田辺光男